

1 事業情報				水道事業評価(令和4年度)		担当課	上水道維持課
目指すべき方向性	強靱	基本政策	2 安定・快適な水道水の供給	施策	2-4 漏水対策の強化	事業	2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進

2 事業評価の概要

項目	内容
基本政策	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。
事業目的	補助金を交付することにより私道内の給水管布設替整備工事を促進し、給水管の老朽化に伴う出水不良及び漏水多発等の解消に努め、給水の安定と漏水率の低減を図ります。
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・お客様の申請に基づき13路線の老朽管をステンレス鋼管に布設替えることにより、出水不良や漏水を解消し、給水管網の整備促進を図ります。 ・引き続き、申請予定件数の把握に努め、補助金の予算執行を適正に実施します。
期間	令和4年4月 ～ 令和5年3月
予算額 決算額	予算額
	単位:千円 総事業費 収益的支出 資本的支出
	事業費計 20,000 20,000 0
	工事費 0
	原材料費 0
	委託料 0
	賃借料 0
	その他 20,000 20,000
	人件費 14,245
決算額	
総事業費 7,272 収益的支出 7,272 資本的支出 0	
執行率 36%	
単位:%	
36%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	0千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	0%		
進捗状況	・補助金申請に係る相談件数は9月末現在で25路線、申請は5路線受理し、うち4路線が交付決定となっており、工事完了後に補助金を交付することとなっています。 ・補助金の利用促進のため、広報かわぐち5月号に特集記事を掲載したほか、同月に本庁舎、支所等市内9カ所にチラシを設置しました。また、8月発行のみずぐるまにも記事を掲載し、広報を行いました。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・申請に係る相談件数は26件あり、補助金申請件数は7件、うち交付決定は5件で、工事完了後補助金を交付しました。残る2件のうち1件は要件不十分により不交付となり、もう1件は中止の申請により取消しとなりました。 ・布設替延長は188.3m、補助金交付額は727万2千円、進捗率37.6%です。 ・補助金の利用促進を目指して、広報かわぐち5月号に特集記事を掲載したほか、同月に本庁舎、支所等市内9カ所にチラシを設置、また8月発行のみずぐるまにも記事をのせ、他に市内公民館34カ所にポスター掲示し11月に2週間広報を行いました。 ・私道補助事業を行っている道路事業、下水道事業と密に連絡をとり、事務の効率化を図りました。
------	---

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R4	R5	R6
指標名	私道内給水管布設替延長	単位	m	目標値	500		
算出式・根拠				実績値	188.3		

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	A
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	A
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	A	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
私道内老朽給水管の布設替が促進され、給水の安定と漏水発生率の改善に繋がりました。 指定給水装置工事事業者を通じて補助利用者より様式の一部において少し分かりにくいという申し出があり、様式の改正を行い利便性の向上を図りました。 広報かわぐち5月号に特集記事で掲載したことで、補助金申請件数並びに補助金交付額が前年度よりも増加に繋がりました。					A

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
私道補助事業を行っている道路事業、下水道事業と連携し、広報することで一定の成果が出ました。今後も連携し、事務の効率化を図ると共に、市民への啓発の一層の強化を行っていきます。	現状維持で継続